

重大事故対策 –ブローアウトパネル脱落后に、その開口部を閉止する装置–



ワーキングの詳細
はこちらから

論点No.103

原子炉建屋内の圧力が上昇したときに自動的に開放される「ブローアウトパネル」について、運転員の被ばくリスク低減の観点から新たに閉止装置を設けるとのことだが、具体的にどのように閉止するのか。

第24回ワーキング
(2023.7.6) で議論

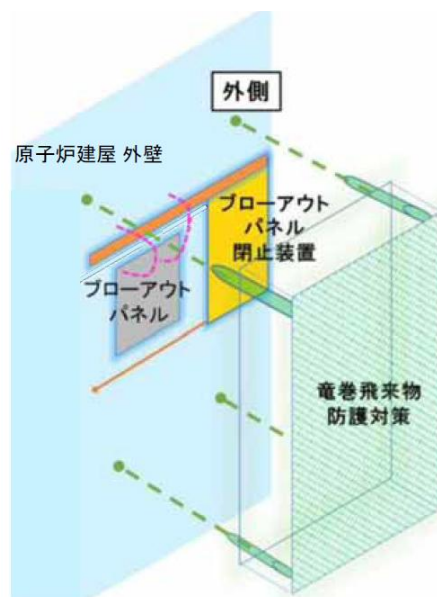
ワーキングチーム検証結果

ブローアウトパネルが外れた後の開口部を覆えるようなスライド扉をパネルの横に設置し、開口部の再度の開閉が可能な構造とすること、また、電動だけでなく人力でも開閉が可能な設計とすることを確認。

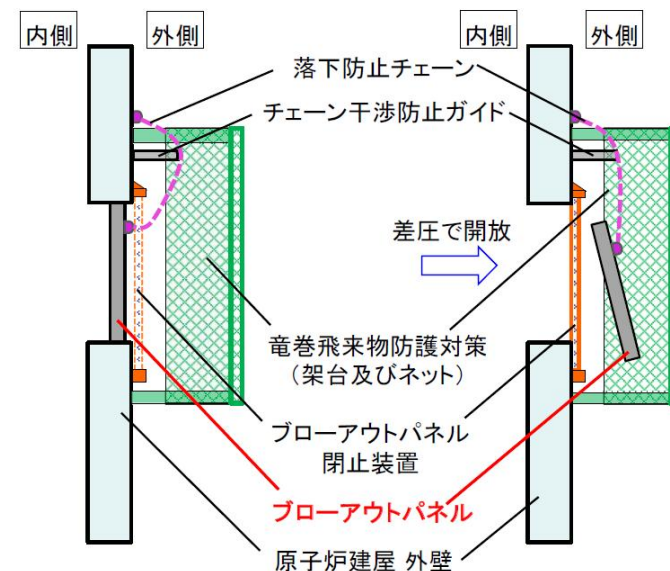
ワーキングチーム検証結果（抜粋）

○ブローアウトパネル閉止装置の構造

- ブローアウトパネルは、事故時に原子炉建屋内外の差圧により自動的に開放し、圧力等から原子炉建屋や格納容器等を防護する目的で設置
- 事故後、運転員の被ばくリスク低減のためブローアウトパネル開放後の開口部を容易かつ確実に閉止操作するため、ブローアウトパネル閉止装置を設置
- 閉止装置は、ブローアウトパネルが開放された状態で開口部の閉止及び再開が可能なスライド扉状の機構
- 開閉操作は中央制御室から実施するが、電源供給ができない場合には現場で人力により操作可能な設計



ブローアウトパネル関連設備配置概略図



ブローアウトパネル開放前

ブローアウトパネル開放後